

令和7年度 市・県民税申告書（簡易申告用）

年 月 日

提出

郡山市長

現住所 郡山市		フリガナ	
令和7年1月1日現在の住所		氏名	
		個人番号	
生年月日	大・昭 平・令	電話番号	世帯主氏名
代理申告	代理者住所	代理者氏名	
		申告者からみた続柄 ()	

1 収入のなかった方（該当する番号に○を付け、項目を記入してください。）

①次の人から扶養、仕送り又は援助を受けていた。
同居・別居（別居の場合は住所を記入してください。）

住 所 _____
氏 名 _____ 続 柄 _____

②貯蓄により生活をしていた。

③学生だった。 学校名 _____ 学 年 令和7年1月1日現在 _____ 学年

④遺族年金・障害年金で生活をしていた。 受給開始年月 _____ 年 _____ 月

⑤雇用保険等で生活をしていた。 受給期間 _____ 年 _____ 月から _____ 年 _____ 月まで

⑥生活保護法による生活扶助を受けていた。 _____ 年 _____ 月から _____ 年 _____ 月まで

⑦①～⑥以外の方は昨年中どのように生計を立てていたかを詳しく記入してください。

2 郡山市内に事務所・事業所・家屋敷を有する方

該当するものに○印 ⇒ イ. 事務所 □. 事業所 ハ. 家屋敷 勤務先又は事業所名 _____
郡山市外の居住地 _____

3 該当する項目があれば記入してください。

本人控除 該当するものを○で囲んでください。	ひとり親 ・ 寡婦	〔ひとり親・寡婦共通要件〕 ・合計所得金額が500万円以下であること。 ・事実上婚姻関係と同様の事情にあると認められる者がいないこと。 上記の要件を満たした上で 〔ひとり親〕 ・現に婚姻をしていない者（離婚を含む）又は配偶者の生死の明らかでない者で、生計を一にする子（前年の総所得金額等の合計額が48万円以下の者）を有している者。 〔寡婦〕 次に挙げる者で〔ひとり親〕に該当しない者 ・夫と離婚した後婚姻をしていない者で、子以外の扶養親族を有している者。 ・夫と死別した後婚姻をしていない者又は夫の生死の明らかでない者。				
	障害者 身体 _____ 級 精神 _____ 級 療育 A・B その他 () 障害程度 _____					
※以下の欄には、扶養している配偶者及び親族（16歳未満の親族を含む。）を記入してください。						
	氏 名	個人番号	続柄	生年月日	16歳未満に○	同居・別居の区分
配偶者控除			妻・夫	大・昭 平・令		同居・別居
扶養控除 ・ 16歳未満の扶養親族 (控除対象外) (平21.1.2以降生)				大・昭 平・令		同居・別居
				大・昭 平・令		同居・別居
				大・昭 平・令		同居・別居
				大・昭 平・令		同居・別居
				大・昭 平・令		同居・別居

受付者印	入力者印
------	------